

**保健体育**

**受験番号**

指導の構想を練る時間：4分間      模擬授業の時間：5分間

**（1）本試験のねらい**

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、留意点を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

**（2）問題の内容**

あなたは、高等学校の入学年次の体育の教科担任です。  
単元の領域は、陸上競技（ハードル走）です。  
本時の目標は「スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越そう。」です。  
次の事項を想定して模擬授業を実施しなさい。  
①授業の導入において全体に対してハードルを勢いよく走り越すためのポイントを伝えなさい。（全体指導）  
②第1ハードルを走り越す際に減速してしまう生徒に対して個に応じた具体的な指導を実施しなさい。（個に応じた指導）  
③必ずスタートラインから第1ハードルを走り越す示範を実施しなさい。（スタート方法は指定しない）

**（3）実施方法について**

- （1）指導の構想を練る時間4分、模擬授業の時間5分とする。  
※指導の構想を練る時間、模擬授業とも時間を経過した場合は途中でも終了する。  
※指導の構想を練る時間に、ハードルを跳ぶ等練習を行うことは可能である。
- （2）模擬授業の流れは、特に定めない。
- （3）試験官を生徒と想定して模擬授業を行う。
- （4）試験官は実際にハードルを跳ぶことはしない。また、問いかけや発問に対して、発言による応答もしない。ただし、試験官に場所の移動を指示することはできる。
- （5）掲示物やホワイトボード等は使用できない。掲示物があったり、ホワイトボードに書いてあったりするものと想定して模擬授業を行っても構わない。
- （6）メモを見ながら授業を行っても構わない。メモは評価の対象とはしない。
- （7）問題用紙、メモは模擬授業終了後、試験官に提出する。

**令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験  
高等学校保健体育志願者への連絡事項**

**1 第2次選考試験模擬授業（実技に係る試験を含む）について**

本年度の保健体育模擬授業（実技に係る試験を含む）は、以下の内容で行う。

(1) 種目

①模擬授業（全員が実施する種目）

陸上競技 ハードル走
------------

②実技に係る試験（選択種目）

選択 I	バレーボール
	バスケットボール
	サッカー
選択 II	剣道
	柔道
	ダンス

(選択 I、選択 II よりそれぞれ 1 種目を選択する)

(2) 場所 屋内（体育館または武道場）

**2 第2次選考試験当日の持ち物について**

第2次選考試験対象者に電子メールで通知した持ち物に加えて、上記の選択種目に応じて次のものを準備すること。

選択 II	剣道	剣道防具一式、竹刀。 ※稽古着・袴の着用は自由とする。 ※垂れの正面に受験番号をチョーク等で記載する。
	柔道	柔道衣一式 ※胸及び背中に受験番号を記載した白布（縦15cm×横25cm）を縫いつける。

※剣道、柔道以外の種目についても必要な服装、体育館シューズ、用具を準備し、試験を受ける際の上着には、胸及び背中に受験番号を記載した白布（縦15cm×横25cm）を縫いつけること。

例) 高0000

**3 体育実技を受験できない者について**

身体障がい又は健康上の理由等により、体育実技を受験できない者は、第2次選考試験当日試験本部まで申し出ること。

**4 その他**

第2次選考試験当日（7/19（土））、論文試験会場にて、下記の令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 高等学校保健体育実技選択種目調査票を提出すること。

切 り 取 り

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 高等学校保健体育実技選択種目調査票

氏名	
----	--

受験番号	高 保 体	
------	-------	--

選択する種目の欄に○を付けて提出すること。

選択 I	バレーボール	
	バスケットボール	
	サッカー	

選択 II	剣道	
	柔道	
	ダンス	